



公衆便所で援交
男の娘と拘束NTRプレイ
体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

僕の趣味は、
出会いサイトや色んなサービスで
女の子を観察して、
たまに会ったりすることだ。
まあ、それなりに、
ヒドイ目にあうこともあるけれど、
いい思いをすることもある。

今日は、ちよつと回頭から気になる子が
募集をかけていたので、連絡してみた。

体験版

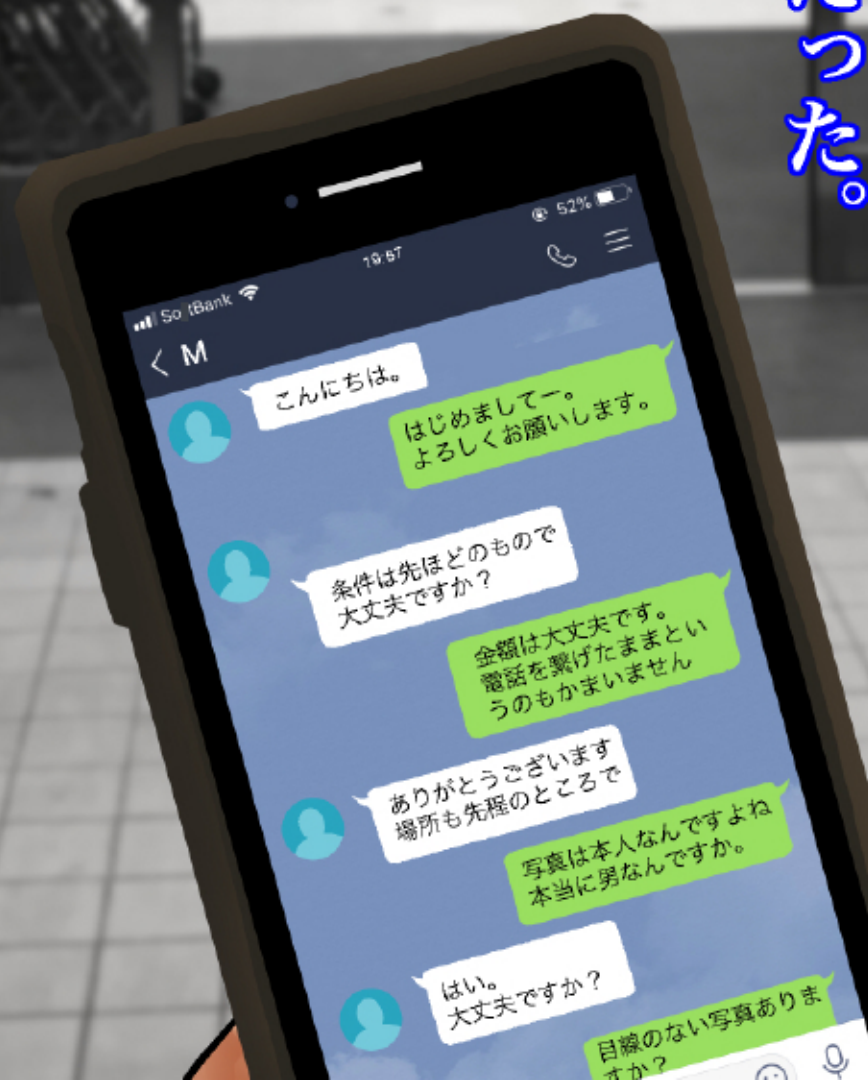
STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

待ち合わせは何の変哲も無い
近所のスーパー。
向こうの指定だ。
条件は、とても特徴的なものだった。
まず、連絡してきたのは
本人ではなくて、その「友達」だった。

まず、安かった。
そのかわり、行為中はその友達と
通話を続けなければならぬ。
場所は、スーパーのトイレ。
相手は、「男」だ。



体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

いつもなら、歯牙にも掛けない内容だった。
でも、その子の自撮りが
目線入りでもわかる可愛さなのだ。
いわゆる男の娘なんだけど、
それ込みでも、「ま、いいかな?」と
思えてしまうのだ。
だから、ダメ元で応募した。

で、約束の時に貰った目線なしがこれだ。
これだけかわいければ男でもいいだろう。
そういうのは、はじめてだけど、
ダメなら、手でしてもらおう……
そう思ったのだ。



体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

少し早く着いたので待っていると、
待ち合わせ時間の10分前には、
やってきた。
一目見てわかる、自撮りの子だ。
なるほど、確かにかわいい。
男だけど。



体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

「あの……アキラさんですか？」

「はい。あの……はじめまして……」

「よろしく願います」

彼女？ 彼？ は恥ずかしそうに答えた。

その声は、とてもかわいらしいものだった。

少し低いようにも感じるが、

可愛らしいけど落ち着いた声とも言える。



「あの、すごい格好ですね。私服ですか？」

（あとから冷静に考えると、私服と

聞く意味が、我ながらわからない）

「買って貰ったんです。似合いますか？」

「あ、かわいいです」

「ありがとうございます」

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

トイレは入ってすぐのところにあった。

「あの……」

「なんですか？」

「せっかくなので、トイレに行く前に
少し買い物をしていいですか」

「ん？ ああ、いいですよ」

「ありがとうございます」

その言葉遣いはとても丁寧で

その服装ととても似合っているように思えた。

アキラは、買い物かごを楽しそうに
手に取った。



体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

黄色いかごを手にも、嬉しそうに店内を回る。
この時間、客は少なかったけど、
結構、ちらちら見られているのがわかる。
そりやそうだ。
僕でも少なくとも二度見はする。

「嬉しいです。久しぶりです」

そう言いながら、

かごに色々なものを放り込んでいく。

「買い物しないの？」

「外出自体、ひさしぶりなんです」

「ふーん？」

（引きいもりなのかな？）



テウ
テウ

体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

「結構たくさん買ったね」
「えへへ。久しぶりなので、つい」
大きく膨らんだスーパーの袋を見ていると
ふと、その靴が目に入った。
スニーカーが浮いていた。
その視線に気づいたか、恥ずかしそうに
もじもじする。



「あ、靴、ちよつと変ですよ。」

「僕なんです。」

「それで、この服は彼の家で着るようになって、
買って頂いたんです。」

「普段は、彼の家から外には出ないので、
困ることはなかったんですが」

「え？ それって……」

「(同棲？ というか、この子の年齢を考えると……)」

「(……ちよつとヤバくね？)」

体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

色々考えそうになったが、それは僕には関係のないことだった。周囲に人がいないことを確かめて、そそくさとトイレに入る。

あの



「あの……僕のこと……聞いてますよね」
「性別のこと？」

「はい。あと、電話のこととか。」

「あの……貴方はこういうことに慣れてますか？」

「いや、はじめてだけど」

「そうですか。」

「では、ふつつかな僕ですが、よろしくお願いいたします」

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

「じゃあ、電話をかけますね」

そう言うと、アキラはスマホを取り出し、電話をかけると、短いやり取りをして切らずに、洗面に置いた。

ようは、自分のパートナーが犯されるところを聞いて興奮する変態が

電話の向こうで、この様子を聞いているということだ。

いい趣味してるな。まったく。

体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

「では、失礼しまーす」

ニクニク♡

アキラは、その場にしゃがみ込むと慣れた手つきで、僕のズボンのベルトを外し僕のものを取り出した。
こうして、とても可愛い子が、僕にひざまずいて奉仕している様を見ると、男の娘だっけわかっていても、すこしずつ元気になってくるのがわかる。

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

アキラは、手袋をしたまま、僕のを
しごき始める。

手袋は、とても良い素材のようで、
肌触り良く、するすると滑るように
なめらかで、僕のを刺激する。

シルクか何かだろうか。

よく見ると、メイド服も生地も厚くて
しつかりしたもののようだ。

手の動きが、緩急をつけ、

少しずつ早く、強くなっていく。

アキラ
アキラ

体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

男のツボを知っているというか
痛くなく、くすぐったいわけでもなく、
ちよつともどこかしく感じるくらいいの
絶妙な力加減で、一方的に刺激される。
その間、とても愛おしいものを見るように
僕のものを見つめ、僕の顔を見ては微笑む。
どこか、ふわつとした性格が
滲み出てくるような感じだった。
いきそうで、まだそこには全然至らない……
そんな力加減で、もてあそばれ続ける。

ミミミ
ミミミ



体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

そんな僕のもどかしい気持ち伝わったのか、
にこりと笑うと、手を止め、
さも愛おしそうにキスをする。
いやらしく、でも
どこか可愛い音がトイレに響く。
軽い、小鳥のようなキスを、何度も何度も。
次第に、キスは熱いものへと変わっていく。
熱い体温が、唇からじわじわ伝わってくる。



キスをやめると、舌を出し、
丹念に、様々な場所に舌を絡めていく。
尿道をちろちろと、
竿の部分で、アイスキャンデーのように、
たまを吸い上げたり、くすぐったりするように
これから始めることの前戯として、
全体に湿り気を加えていく。



体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

丁寧に舐め上げ、咥え込む。
先を包み込み、口の中で、
舌で尿道を押し広げたり、
つつん刺激を加えたりしていく。
口の中に唾液が溜まっていく。
いやらしい音が大きく響く。

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

音を立て、根元まで啜えこむ。
さつきから、手を使っていない。
僕が何も言わないのに、口だけで
えずくくらい深いところまで
啜え込んでいる。

その行為から、
派手に立てられる音からも、
電話の向こう側の存在を
否応無く意識させられてしまう。

體驗版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

カエ...

じゅん...る♡

STU
BASS
EXPLICIT C

奥までゆっくり咥え込み馴染ませると、次第に、そのスピードを上げていく。僕の、大きくなったグロテスクなそれが、可愛い口の中に吸い込まれていく。自分のものが更に大きくなり、次第に熱いものが込み上げてくるのがわかる。それが伝わっているのか、より、音はいやらしく大きくなり、先ほどまでと違い、ストロークは単調に機械的になっていく。

体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT



限界が近いのがわかっているのだろう。
さきほどまで口だけだったのが、
手も使い、容赦無くしごいてくる。
「きもちいいですかあ？」
僕は頷く。
「出しちゃいます？」
僕は頷いた。

オエ、

ぐゅぽゅ
ぐゅぽゅ

ぐゅぽゅ
ぐゅぽゅ

ぐゅぽゅ
ぐゅぽゅ

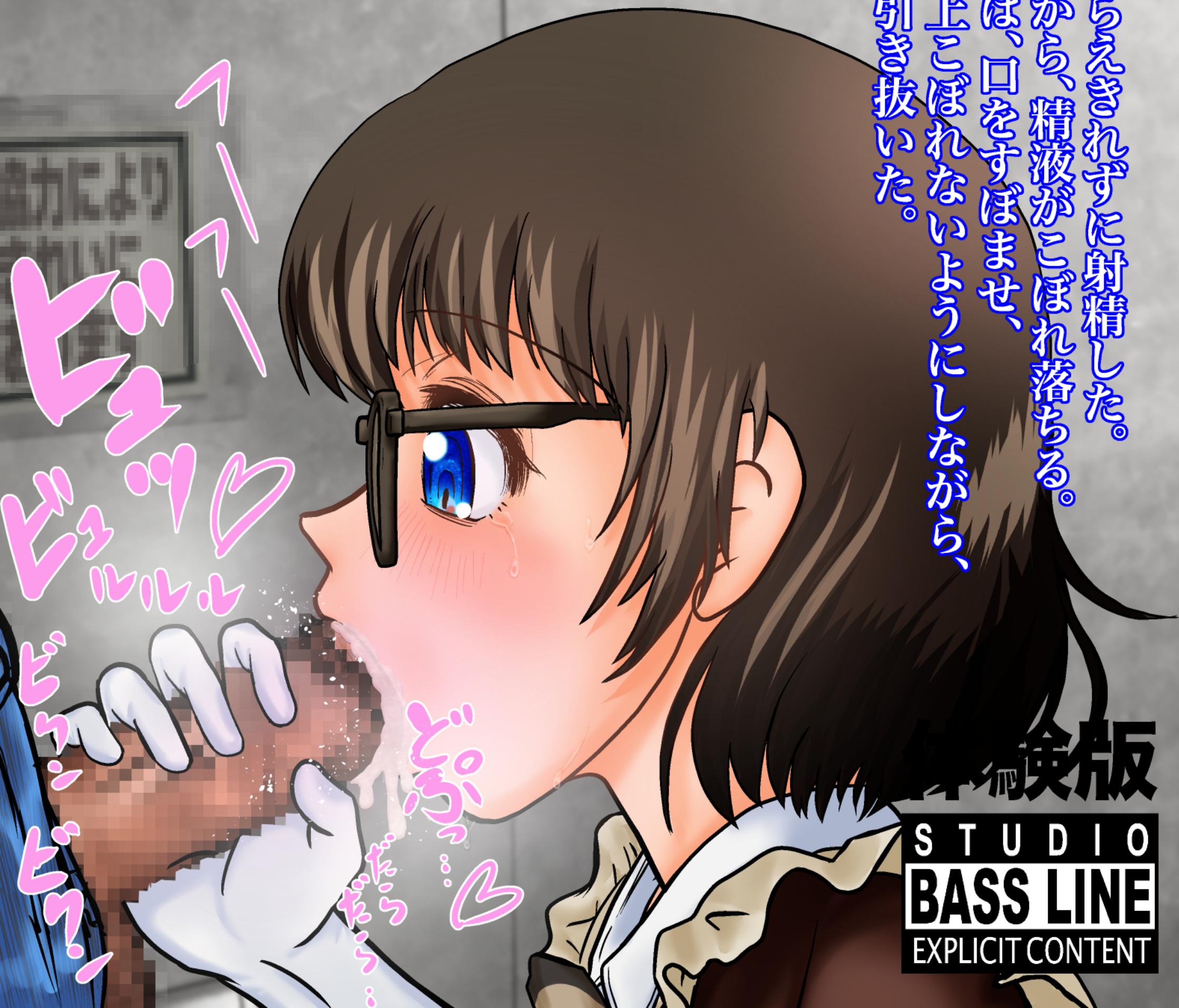
体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT

僕はこらえきれずに射精した。
口の端から、精液がこぼれ落ちる。
アキラは、口をすぼませ、
それ以上こぼれないようにしながら、
口から引き抜いた。



本編版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

「ごっくん」
アキラは、それをさも当然であるかのように
飲み込んだ。
「飲んじやいました」

ゲット

ぐゅるんっ♡

ミッ♡

ハッ♡

トロ♡

ハッ♡

ハッ♡

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT

「濃いのでましたね。ぷるぷるしてる」
口の周りの拭いながら、顔についたものも
指で集め、舐めとつていく。
「気持ちよかったですか？」
僕は頷く。
「まだ出来ますか？」
よかったら、僕の後ろも味わってください」



体験版

STUDIO

BASS LINE

EXPLICIT CONTENT


「本当に君は、男なの？」
僕はつい聞いてしまう。
「そうですよ？」
アキラは立ち上がると、
長いスカートをめくり上げる。
ゆつたりとしたギャザーを入れた
青いパンツ。
確かに、その股間には膨らみがある。
「ね？」

ね？

えっ..

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT



実況プレイ、フェラチオ
手錠拘束、ナマ挿入等、
男の娘相手に盛り沢山！

体験版

STUDIO
BASS LINE
EXPLICIT CONTENT



**基本CG枚数 1 2枚！
総ページ数 5 1枚！
眼鏡なしverも付属！**

体験版

**STUDIO
BASS LINE**
EXPLICIT CONTENT



製品版に続く！

体験版

**STUDIO
BASS LINE**
EXPLICIT CONTENT